

平成 23 年度横浜市国際学生会館事業計画

1 安全で勉学・研究に適した宿泊施設の提供

効率的な施設運営を行うことにより、留学生に安全で快適な宿泊施設を提供します。

(1) 安全で快適な住環境の提供

安全で快適な宿泊施設を提供するとともに、充実した学習・研究環境を整え、学習・研究に役立つ様々な情報を提供します。

(2) 施設の適正な管理

学生会館の機能を安定的かつ十分に発揮できるよう、また資産としての価値を長期にわたって維持できるよう、複合他施設との連携を密にしながら、施設全体の保全を効果的・効率的に行い、施設・設備の長寿化と経費の節減を図ります。

(3) 防犯・防災対策の徹底

24 時間の有人管理体制とともに機械警備を行うことにより、入居者の安全を図り、生命・財産を守ります。また、入居者に対して、入居時や必要に応じて説明会の開催及び防災訓練の実施により、避難経路や災害時の対応、災害に対する心構え等を周知します。

2 留学生の力を活用した国際理解の増進等

留学生の力を活用しながら、市民等の国際理解を増進します。

(1) 国際理解事業

留学生による講座を開催し、市民等の国際理解を増進します。

①児童生徒国際理解事業（留学生による出前授業・地球村一日留学）

②留学生による文化交流事業（語学・文化講座、会話交流会、国際機関等他団体との連携事業）

(2) 市民と留学生との交流・地域貢献事業

市民と留学生との交流により、相互理解を図ります。また、地域住民の一人として、留学生の地域活動への参加を促進し、地域へ貢献します。

①留学生チューター事業（日本語指導・プログラムの説明及びチューターと留学生との交流会・チューターのための指導法講座）

②地域交流・地域貢献事業（潮田神社祭礼パレードへの参加・潮田西部地区連合盆踊り大会への参加・潮田西部地区連合運動会への参加・潮田西部地区連合防災訓練への参加）

③潮田交流プラザ秋まつり

(3) 留学生就職支援・生活相談事業

留学生の就職をサポートし、また留学生の日常生活の相談に対応し、情報提供を行います。

①就職支援（就職ゼミナール）

②日常生活の相談

(4) 在館者相互理解事業

在館者同士の親睦を深めることにより、相互理解を促進し、横浜での留学生活に潤いと楽しみを与えます。

①留学生会支援事業（歓送迎会・地域交流会等）

②OB による現役入居者支援事業

(5) 広報事業

会館の事業を広く PR します。

①『よこはま地球村』の発行

内容：学生会館の活動紹介、留学生事情、留学生の声の紹介、
留学生の母国文化の紹介等

②ホームページによる情報発信

内容：リニューアル（リンクや内容の見直し）を図ったホームページの質的レベル
を維持しながら施設案内、入居案内、会館のイベント情報等情報発信を促進する。

3 施設の公平・公正な運営

施設の利用者等が安心して施設を利用できるよう施設の公平・公正な運営を行います。

(1) 公平な入居者審査の実施

入居審査にあたって、現行の経済状況・国際交流意欲・学業成績等に基づく選考基準について、学生会館の設立趣旨や留学生の動向を踏まえて見直しを行い、客観的な指標を設定し、公平な入居審査を行います。

(2) 適正な受益者負担

行事の参加者等に対し、適正な受益者負担を求め、それをより良い施設の運営に反映します。

(3) 個人情報保護の徹底

会館の利用者、事業協力者等に関する個人情報を適正に管理し、利用者等に安心して施設を利用してもらえるようにします。

(4) 職員の配置

これらの事業を行うため、次の職員を配置します。


館長・副館長・職員4人。この他に、これら職員の業務を補助するため、必要な臨時職員を配置します。


(5) 職員の研修

会館の機能が最大限発揮できるよう、職員の研修を行います。

平成 23 年度指定管理者自主事業計画書


(1) 国際理解事業


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
① 児童生徒 国際理解事業 	<目的及び内容> A 留学生による出前授業 小・中学校に留学生を派遣し、母国文化の紹介を通じた交流により児童生徒の異文化理解を促進する。学校からの申込に応じて留学生を派遣し、話や遊びを通して、児童生徒の異文化理解を促進する。また、小・中学校教員を対象に、出前授業体験会を開催する。 B 地球村一日留学 留学生が小学生に母国の言葉や遊び、料理を通して、異文化に対する理解を深める。 <対象>A 市内在住小・中学生 B 市内在住小学生 <時期、回数等>A 通年・80回 B 8月・2回	30
		(内訳)
		参加費 30
		支出
690		
(内訳)		
謝金 500		
教材費等 80		
体験会 30		
交通費 30		
雑費 50		


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入 (千円)
② 留学生による 文化交流事業 	<目的及び内容> 市民が留学生からその母語を学んだり、英語・中国語・韓国朝鮮語等によって交流したり、留学生の母国の文化を学ぶことを通じて異文化理解を深め、市民の国際理解を促進する。また、こうした母語や文化の紹介等は一部他団体との共催により実施する。 A 語学講座 B 留学生会話交流会 C 海外文化講座 D 他団体等との協働講座 <対象>市内在住・在勤・在学者 <時期、回数等>年20回開催	400
		(内訳)
		受講料 400
		支出
620		
(内訳)		
謝金 500		
教材費 70		
雑費 30		
交通費 20		

平成 23 年度指定管理者自主事業計画書

(2) 市民と留学生との交流・地域貢献事業


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
① 留学生 チューター 事業 	<目的> 日常会話のレッスン、レポートや論文の日本語チェックなどにより留学生を支援する。 <内容> A 日本語指導（日常会話、論文、就職支援等）を希望する留学生と市民ボランティアの仲介役として学習と国際理解の場を提供する。 B プログラムの説明・交流会の開催 C チューターのための指導法講座 <対象>市民及び留学生 <時期、回数等>A 通年・15 組以上／斡旋成功率 90%以上 B 5 月・1 回 C 9 月、2 月・2 回	0 (内訳)
		支出
		500 (内訳) 謝礼 400 説明会・交流会 20 資料送付 50 保険料 30



事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
② 地域交流・ 地域貢献事業 	<目的> 地域行事への参加を通して、留学生には日本の伝統文化に触れる機会を提供し、地域の人々には留学生との交流を通して、お互いの異文化理解を深める。また、地域の一員として防災訓練等地域行事に協力していく。 <内容> 潮田神社の祭礼、潮田西部地区自治連合会の盆踊り、運動会に参加及び地域行事への協力及び近隣住民を招いた地域交流会 <対象>地域住民及び留学生 <時期、回数等>祭礼（6 月・1 回）、盆踊り（7 月・1 回）、運動会（10 月・1 回）、その他（随時・必要の都度）	20 (内訳) 参加費 20
		支出
		90 (内訳) 衣装代 30 謝礼 30 雑費 30

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
③ 潮田交流 プラザ秋まつり 	<目的> 潮田交流プラザ 3 施設と地域の交流を行い、相互理解を図る。また、留学生に対する理解の促進を図る。 <内容> 国際色豊かな学生会館の特色を生かし、留学生と来場者が気軽にふれあえるような催しとする。 <対象>地域住民 <時期、回数等>10 月・1 回	80 (内訳) 売上げ 80
		支出
		300 (内訳) 材料費等 150 催し物 50 会場装飾 20 交流会 80

平成 23 年度指定管理者自主事業計画書


(3) 留学生就職支援・生活相談事業


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
① 就職支援 	<目的> 日本の大学等を終了後、日本に留まり就職を希望する留学生に、効率的な就職活動ができるようにサポートする。 <内容> 留学生であることのアピールポイントについて、ノウハウを提供する。また、市内企業の情報提供やマッチングにつながる取組みを積極的に進める。 <対象>市内大学に在籍する留学生 <時期、回数等>年3回程度	0 (内訳)
		支出
		200 (内訳) 講師謝金 180 諸雑費 20

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
② 日常生活の 相談  	<目的> 入居者が、日常生活を送る上で生じる様々な問題や緊急時の対処方法について、相談に応じ、安心して留学生生活を送れるようにする。 <内容> 日常的な生活相談や緊急時の相談、専門的な相談についての関係機関と連携して対応する。 <対象>入居者 <時期、回数等>通年・随時	0 (内訳)
		支出
		20 (内訳) 講師謝金 20

平成 23 年度指定管理者自主事業計画書


(4) 在館者相互理解事業


事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
① 留学生会 支援事業 	<目的> 入居者が組織する留学生会を支援し、入居者同士の親睦交流を促進する。 <内容> 留学生会活動の支援を行うとともに、ロビー等に季節の飾り付けをし、日本文化を味わってもらう。 <対象>入居者 <時期、回数等>通年・随時	0 (内訳)
		支出
		210 (内訳) 歓送迎会 180 季節の飾り 30

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
② OBによる 現入居者 支援事業 	<目的> OB相互、またOBと現入居者のネットワークをつくる。現入居者の支援にOBの力を活かし、学生会館とOB・現入居者のつながりを深める。 <内容> ①自主的なOBの集まりをサポートし、情報交換を通じて、ネットワーキングを図る。 ②就職支援事業における先輩の体験談の紹介、アドバイス ③その他潮田交流プラザ秋まつり等のイベント時を通じての交流 <対象>OB及び現入居者 <時期、回数等>①②就職支援事業の開催時 ③通年・随時	40 (内訳)
		会費 40
		支出
		80 (内訳) 通信費 60 雑費 20

平成 23 年度指定管理者自主事業計画書

(5) 広報事業

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
① ニュースレター 「よこはま地球村」の発行 	<目的> 学生会館のPR、市民の留學生理解、会館関係者（OBやチューター等）と学生会館とのつながりの維持のため、ニュースレター「よこはま地球村」を発行する。 <内容> 学生会館の活動紹介、留學生事情、留學生の声の紹介、留學生の母国文化紹介等 <対象>市民、学生会館関係者 <時期、回数等>6月、9月、12月、3月・年4回・各4、000部発行	0 (内訳)
		支出
		550 (内訳) 制作費 350 諸費用 50 送料 150

事業名	対象・目的・実施時期・回数等	収入
② ホームページによる情報発信 	<目的> 学生会館の動きをタイムリーに知らせることで、学生会館事業のPRと国際交流に関心のある市民等のニーズを結びつける。また、OB等関係者と学生会館をつなぐ手段とする。 <内容> リニューアル（リンクや内容の見直し）を図ったホームページの質的レベルを維持しながら学生会館の活動（施設・入居案内、会館のイベント情報、ニュースレター、OB情報提供等）について情報発信を行う。 <対象>市民、留學生、学生会館関係者 <時期、回数等>通年・随時	0 (内訳)
		支出
		0 (内訳)